第６７回国立民族学博物館運営会議議事要旨

日　時　　令和５年３月３日（金）１３：３０～１６：２５
場　所　　国立民族学博物館第１会議室
出席者
（館外）　岡田、木川、高倉、富沢、中谷、水沢の各委員
（館内）　宇田川、岸上、園田、野林、信田、平井、福岡、三尾の各委員
（陪席）　吉田館長、猿渡管理部長、西尾館長補佐、一鷓総務課長、若松研究協力課長、
　　馬場財務課長、前原企画課長、北條情報課長
（事務局）溝端総務課課長補佐、河野総務企画係長、佐野総務企画係員

議事に先立ち、岸上議長から、本会議は、国立民族学博物館運営会議規則第５条第１項及び第３項による成立要件を満たしている旨の説明があり､総務課長から配付資料の確認があった。

議　事

１．会議の運営について

（１）館長挨拶

吉田館長から､第６７回国立民族学博物館運営会議（令和４年度第４回）開催にあたり、挨拶があった。

（２）前回議事要旨（案）の確認について

岸上議長から、資料１に基づき、第６６回国立民族学博物館運営会議（令和４年１０月７日開催）の議事要旨（案）の確認が行われ、原案どおり承認された。

２．協議事項

（１）館長候補者選考検討委員会設置要項（案）について

岸上議長から、資料２に基づき、館長候補者選考検討委員会設置要項（案）について説明があり、審議の結果、委員会の設置が承認された。

（２）国立民族学博物館名誉教授の称号授与について

岸上議長から、資料３に基づき、本年３月３１日をもって定年退職予定の教授３名、ならびに本年３月３１日をもって就任期間が終了予定の客員教授１名に対する国立民族学博物館名誉教授の称号授与について審議願いたい旨の提案があり、対象の４名が名誉教授の称号授与の資格を満たしていることの説明があった。引き続き、事務局から、関係規程の説明があった後、発案者の各館内委員から、選考資料に基づき、候補者の功績等について詳細な説明があった。

また、岸上議長から、本件に関しては、２月１４日（火）開催の部長会議の承認を得て推薦している旨、併せて説明があった。

審議の結果、対象の４名全員について、名誉教授の称号授与が承認された。

（３）教員人事について

岸上議長から、資料４に基づき、人事委員会から提案のあった３件の人事案件（教授への昇任３件）について審議願いたい旨の説明があった。続いて、選考委員会の各主査から選考経過等について説明があり、審議、投票の結果、全件承認された。

（４）外国人研究員人事について

平井委員から、資料５に基づき、外国人研究員候補者１名の受入について推薦理由等の説明があり、審議の結果、受入が承認された。

（５）令和５年度国内客員部門担当教員について

岸上議長から、資料６に基づき、令和５年度国内客員部門担当教員（新規２名、継続６名）について審議願いたい旨の説明があり、審議の結果、全員の就任が承認された。

３．報告事項

（１）人事委員会について

岸上議長から、資料７に基づき、令和５年１月２７日にウェブ会議、２月２０日にメール開催された人事委員会について、報告があった。

（２）共同利用委員会について

平井委員から、資料８に基づき、令和４年１０月２６日、令和５年１月１３日、１月２３日にメール開催された共同利用委員会について、報告があった。

（３）国立民族学博物館の動きについて

１）国立民族学博物館の最近の動きについて

各委員等から、資料９から１５に基づき、以下の報告があった。

・平井委員から、評価及び学術交流協定の締結について
・園田委員から、入館者数等について
・岸上議長から、本館の活動状況及び新型コロナウイルス感染症拡大にともなう本館の状況と対応について
・吉田館長から、受賞について
・信田委員から、総研大について

２）次年度の事業計画について

岸上議長から、資料１６に基づき、次の事項について報告があった。

・共同研究
・特別研究
・フォーラム型人類文化アーカイブズの構築にもとづく持続発展型人文学研究の推進
・広報企画事業
・文化資源関連事業
・情報運営関連事業

３）国立民族学博物館をとりまく動きについて

吉田館長から、資料１７に基づき、次の事項について報告があった。

・人間文化研究機構のプロジェクトについて
・令和５年度当初予算について
・土地借料について
・海外からの来訪者について

４．その他

館外委員から寄せられた主な意見は次のとおりであった。

・予算が厳しい状況でも、民博ならではの打開の仕方があるのではないか。また、いろいろな活動が連関しながら行われているので、活動の全体像がわかるイメージ図があると良い。
・戦争、災害と世界的に大変な状況だが、民博が研究しているテーマはそのようなグローバルな問題にも関わっているので、これからも期待している。館外委員に送付されている国立民族学博物館（みんぱく）活動メールは大いに活用するのが良い。出版物の情報を掲載すると成果の発信になる。
・大使館等との関係の重要性を感じた。
・昇任人事が３件あり、これからの活躍が楽しみである。予算が厳しい状況でも、さまざまな事業を推進してほしい。なお、メール審議について、審議内容を明確にしてほしい。
・入場者数が盛り返している。新たに家族層とのつながりができたとのことだが、今後どのようにアピールしていくか楽しみである。